

十津川： 紹介 (Web)

奈良県の人里離れた山間部にある秘境、十津川へようこそ。十津川の面積は、シンガポールよりわずかに小さく、東京都心部の 23 区より少し大きい約 672 平方 km です。この地域に占める山の割合は、ネパールやスイスよりも高い約 96%です。この地域の山や深い谷には 55 の集落が点在しており、各集落の人口規模は一世帯から数百人までと様々です。ここには鉄道路線はありません。その代わり、集落間は複雑に入り組んだ道路網で結ばれています；近年アクセスを改善するために掘られた合計 43 本、総延長 14.6km のトンネルを除いて、道路はまるで数メートルごとに曲がりくねったり折れたりしているように感じられます。1 日 3 回、十津川を南北に縦断するバスは、人口の大半が住む地域を結ぶ片道約 2 時間半のルートをとります。長年にわたり、ある山間地域では険しい峡谷を流れる川が唯一の交通経路でした。

十津川は日本語では「mura (村 ; village)」に分類されますが、その規模は地域や地区に近いものです。十津川の歴史的なルーツは、日本の最初期にまでさかのぼるものの、人里離れた場所にあり、交通手段も限られていた十津川は、あまり多くの人を訪れる場所ではありませんでした。この村は今でも実質的に、素朴な田園文化に浸り、伝説の武士の足跡をたどり、温泉に浸かり、いかだで川下りをし、山頂の神社に参拝し、熊野古道という参詣道を歩くためにこの地を訪れる人々だけが知る秘密の場所です。